

第72回山口大学医師会・山口大学医学部主催 医師教育講座（体験学習）

基本的な甲状腺診療と甲状腺エコー手技について

と き 令和6年3月17日（日）9:00～12:00

ところ 山口大学医学部附属病院 A 棟 1 階
「オーディトリウム（大講義室）」

指導印象記

山口大学医学部附属病院

第三内科講師 田口 昭彦

令和6年3月17日、山口大学医学部附属病院 A 棟 1 階の「オーディトリウム（大講義室）」において、山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座（第三内科）の担当により、第72回山口大学医師会・山口大学医学部主催の医師教育講座を開催しました。今回のテーマは「基本的な甲状腺診療と甲状腺エコー手技について」として、日常臨床で遭遇する甲状腺疾患に焦点を当て、参加者の先生方が明日からの日常診療にお役立ていただけることを目的としました。

まず、太田康晴 教授による開会の挨拶が行われ、その後、西嶋医師による「基本的な甲状腺診療について」の講義が行われました。甲状腺中毒症と甲状腺機能低下症に関する特徴的な症状や検査データ、及び鑑別診断や治療に関連する基本的な概要が説明されました。また、甲状腺ホルモンの検査において偽高値や偽低値が存在し、検査試薬や検査会社を変更することで結果が変わり得ることも紹介されました。その後、甲状腺エコーの実施に際して、実践的な説明が行われました。特に甲状腺腫瘍において悪性を疑うエコー所見などのレクチャーが重点的に行われました。

その後、参加者の先生方は内科外来に移動し、体験実習として甲状腺エコーを実施しました。参加者自身が被検者にもなることで、頸部超音波検査で患者さんへの配慮が必要な点についても理解を深めることができました。エコー実習では、性

能の異なる2台のエコーを使用し、機種によって結節や甲状腺内部の見え方が異なることも体験されました。実習中には多くの質問があり、先生方全員が熱心に取り組んでおられました。最後に、オーディトリウムに戻り、甲状腺疾患のエコー所見をクイズ形式で提示しながら解説が行われました。

体験実習終了後、太田教授から閉会の挨拶がありました。甲状腺疾患は一般的な疾患ですが、糖尿病などに比べ勉強会などが少ないため、その学習機会が不足していることが懸念されています。今後もこのような勉強会を開催させていただき、甲状腺疾患に関する知識を深めていきたいと考えています。

最後に、この実習を通じて当科の診療内容を紹介する機会を提供してくださった県医師会の皆様に心から感謝申し上げます。

受講印象記

徳山医師会 山本 真二

令和6年3月17日（日）9時～12時まで第72回体験学習が開催されました。今回は第三内科の担当で、テーマは「基本的な甲状腺診療と甲状腺エコー手技について」でした。

当日は、小雨で肌寒い天気となったことからか、参加者は7名と少人数でした。

はじめに太田教授から、第三内科の引受けは今回が初めてと挨拶がありました。

日程は野口病院の西嶋先生から「甲状腺疾患を診るポイント」、「甲状腺エコーのコツ」の講義に

始まり、引き続き「甲状腺エコー体験」の実習がありました。最後に「甲状腺エコークイズ10問」が行われました。

講義を担当された西嶋先生は山口大学第三内科のご出身で、現在は甲状腺治療で名高い大分県別府市にある野口病院で研鑽されています。豊富な症例の紹介もありました。

私なりのポイントを4つ示します。

- ① TSHはT3,T4によるフィードバックで鋭敏に変動する。
- ② 甲状腺機能を1種類のホルモン測定で行うとしたら、TSHとする。
- ③ TSH低置 ($0.1 \mu\text{U/ml}$ 以下) は専門医療機関紹介もしくは精査する。
- ④ 健診等で誘因なくクレアチニンやLDLが低下もしくは上昇傾向にあれば甲状腺疾患も疑う。

続いて「甲状腺エコー体験」では、病院外来検査室のエコー検査機器を2台使い、ペアを組んでお互いが被験者となり実習を行いました。甲状腺のみならず顎下線、リンパ節等の確認もできました。参加者が少ないこともあって、第三内科の

スタッフの丁寧な指導を受けることができました。また、参加者の中に甲状腺疾患が偶然見つかり、改めてエコー検査の重要性を認識しました。

最後の「甲状腺エコークイズ10問」はエコー検査の画像と血液データから疾患を当てるクイズでした。1問15秒で答えなければならないので、参加者全員頭をフル回転して画像とデータを見つめていました。ちなみに私の結果は10問中4問の正解でしたが、クイズ形式で復習を兼ねていたので緊張しつつも楽しかったです。第三内科より問題と解説付の資料をいただきましたので、じっくり復習したいと思います。

私は健康診断業務を行っていますので、時々甲状腺腫大の方に遭遇します。今後は甲状腺疾患に特有の症状を尋ね、今まで以上に甲状腺疾患も疑って今後の事をアドバイスできると思います。

最後にこのような機会を提供していただいた第三内科の太田教授、野口病院の西嶋先生はじめ、スタッフの皆さまにお礼申し上げます。

